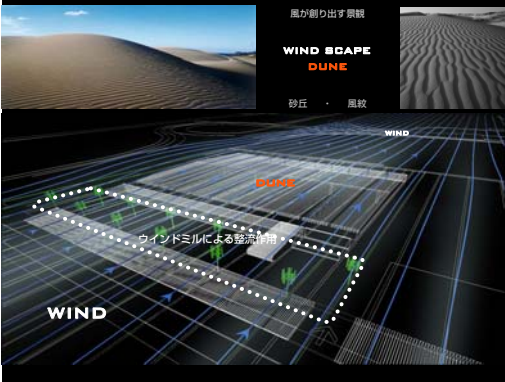


北関東自動車道の伊勢崎ICと国道17号に挟まれた平野に建つ配送センターの計画。建築主のトラスコ中山は、機械工具・建設資材の卸売業を主とする企業であり、「やさしさ未来へ...」という環境理念を掲げ、地球環境に高い関心を持つ企業である。「平置倉庫」という省エネ要素が少ないビルディングタイプながら、ウインドミルを象徴とする積極的な環境負荷低減の技術提案を積み重ねることで、企業理念を可視化する環境デザインを目指した。

建築主からは、周囲道路から容易に敷地全体が見渡せるというロケーションを生かし「広告塔としての建築デザイン」と、この地域独特の季節風「赤城オロシ」への機能的な対策を求められた。ここでは、これら「デザイン」「機能」の2つのニーズに対し、「WIND SCAPE = 風が創り出す風景」という1つのキーワードで回答している。

「風」の存在を可視化し、カラーで彩られたエコシボルのウインドミル(縦軸回転型風力発電機)は周囲からのアイストップとして機能するだけでなく、風の整流装置として役立っている。外観を形成する屋根と外壁はラジアル加工によって滑らかに連続し、風のトレース「風紋」をストライプ・モチーフに置換えたアプローチ空間と一体となって、シームレスなランドスケープを構築している。

これらの環境性能を踏まえ、当センターは単なる省エネ技術の集合体には留まらず、「この環境でしか有り得ない」サイトスペシフィックな建築デザインの展開を意図した。「自然を丸ごと受け入れること」から思考した環境技術とデザインとの高次元の融合は環境デザイン手法としての新たな方向性を示している。

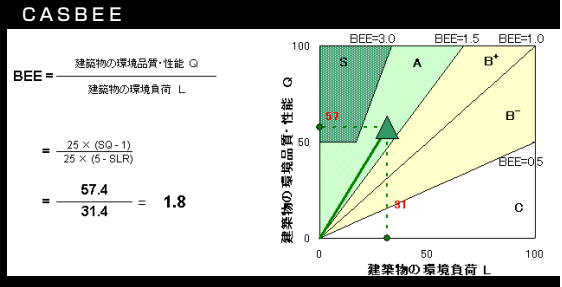
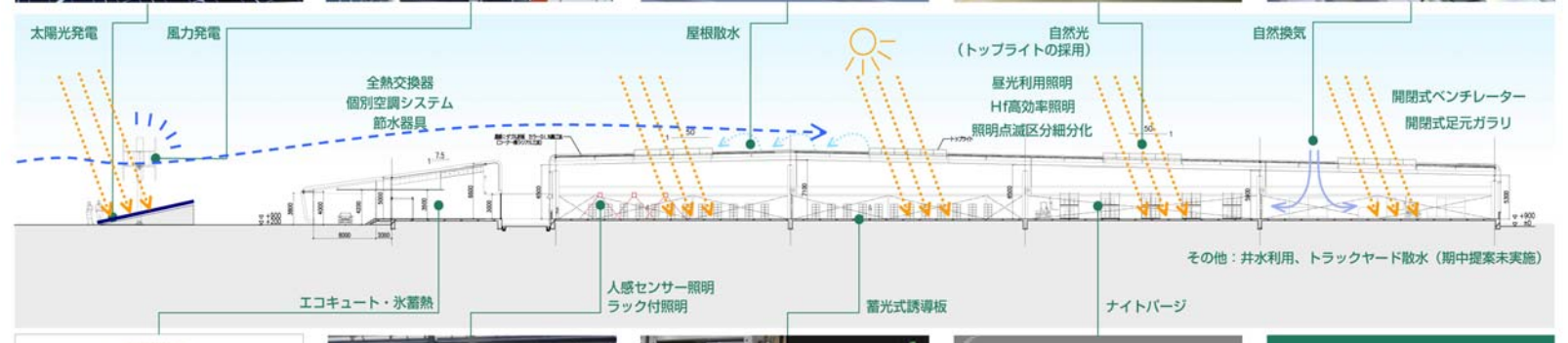


■ 建築概要

建築地 群馬県伊勢崎市三和2739番-1
 主な用途 物流センター
 構造規模 柱 RC造・梁 S造、地上1階
 敷地面積 33,058.24㎡
 建築面積 15,668.52㎡
 延床面積 15,542.58㎡
 設計施工 株式会社 竹中工務店



太陽光発電 +11,000kwh/年	風力発電 +4,500kwh/年	屋根散水 △104,000kwh/年 (農業用スプリンクラー散水の採用)	トップライト △58,000kwh/年	自然換気他 △312,000kwh/ピーク
-----------------------	---------------------	--	------------------------	--------------------------



エコキュート △1,000kwh/年	人感センサー △26,000kwh/年 (吊ボルト不要・照度アップ)	ラック付照明 △24,000kwh/年	蓄光誘導標識 △2,300kwh/年 (蓄光タイプにより電池交換不要)	ナイトパージ 夜間蓄熱エネルギーの採用	消費電力削減効果 合計 △750,000kwh/年
-----------------------	--	------------------------	---	------------------------	---------------------------------

環境・設備デザインの評価項目

評価項目	評価基準	評価結果	評価理由
計画段階	計画段階	◎	計画段階から環境配慮を考慮し、環境配慮型建築を実現している。
設計段階	設計段階	◎	設計段階から環境配慮を考慮し、環境配慮型建築を実現している。
施工段階	施工段階	◎	施工段階から環境配慮を考慮し、環境配慮型建築を実現している。
運用段階	運用段階	◎	運用段階から環境配慮を考慮し、環境配慮型建築を実現している。
維持管理	維持管理	◎	維持管理から環境配慮を考慮し、環境配慮型建築を実現している。
廃棄段階	廃棄段階	◎	廃棄段階から環境配慮を考慮し、環境配慮型建築を実現している。

